



# こまけんだより



平成24年3月号 駒場剣友会

## 今月のオススメ

☆今月の言葉・・・本荘先生の言葉&2月のお当番日誌より

☆卒業特集・・・贈る言葉 (木村先生・尾島先生・山田先生・錬成部長 本田さん・キャプテン松本駿平くん・後援部 松本育代さん)

☆お知らせ・・・3、4月の予定、その他

☆おまけ・・・「こまけんだより」ちょっと振り返ってみた(〽)

☆星やん武芸帳・・・「素振り?間違っていないですか?」

いよいよ3月。6年生のみなさんは卒業ですね！  
今年の冬はとつても寒かったけど、もうすぐ来る春に向け  
桜はつぼみを膨らませてしっかり準備してますよ。  
胸を張って立派に卒業・進級できるように、みんなも毎日しっかり生活しよう！



## 本荘先生より

インフルエンザが猛威を振るい、やっとおさまりかけたと思ったら季節はずれの雪、なかなか本当の春は訪れないようです。思い返すと、東日本大震災から早一年になります。あの激しい揺れや大きな津波そしてその爪跡、忘れてはいけません。日々、稽古できるありがたさに今一度感謝し、今年度残り何回かの稽古を皆で充実したものとしましょう。

今年もまた6年生との別れの季節がやってきました。この6年生は、キャプテン、副キャプテンを中心によくまとまってよく稽古をした学年でした。駒剣だけでなく修道館や埼玉大学寒稽古にも継続して通い稽古しました。稽古をする後姿で先輩たちを引っぱっていった気がします。2月の土曜日の稽古では、早く来て駒剣旗や打ち込み棒を用意してくれていました。そういう気持ちが素晴らしいと思います。昨年6月の浦和剣道大会では、駒剣史上初の団体優勝を成し遂げました。その代としてこのメンバーは語り継がれることでしょう。☆松本駿平くん…寡黙で稽古熱心な名キャプテンでした。3年生のときの浦和剣道大会だったでしょうか、個人・団体戦ともに何試合も戦い抜き、頭から湯気を出していたかわいいう姿が懐かしいです。☆森涉くん…日向の幼馴染なので小さい頃から知っていますが、あのやんちゃな甘えん坊がよくここまで成長したと感慨深いものがあります。これからどんな剣道を身につけるか、ますます楽しみです。☆種田祥吾くん…こつこつ努力するがんばり屋です。センスのある剣道をします。本太中でもまれてどんなタイプの剣士になりますか、大いに楽しみにしています。☆脇田脩平くん…笑顔の素敵な脩平くん、短期間ですぐに上手になりました。こちらも本中組ですね。大いに鍛えて持ち前のバネを生かした剣道を伸ばして欲しいと思います。☆本多和史くん…6年後半からぐぐぐぐぐと強くなりました。真っ直ぐは強いという見本のような剣道です。最後のさくら草旗大会、どんな戦いをするかとても楽しみにしています。☆近藤恵人くん…大きな体をつかった豪快な剣道です。一年間受験勉強してきたことは必ずこれからは生きるはずで。今後の成長を楽しみにしています。☆須山舜太くん…6年生になって一段と力強い稽古をするようになりました。お兄ちゃんは中学で野球少年になりましたが、舜太くんは剣道を続けてお父さんのような面を打てるようになるまで頑張ってください。☆清水宗一郎くん…ちょっと見ないうちに背が驚くほど伸び、ブランクを感じさせない力強い面を打ちます。私立中学に進学しても幸いさいたま市内の学校、大会などで会えますね。大きな剣道を身につけてください。☆本荘日向くん…埼玉大寒稽古に4・5・6年と51日皆勤したのは立派です。朝私が起きるとたいいもう稽古着に着替えていて、私が引っ張って貰った感じでした。ムードメーカーとしての役割もうまくこなしていたように思います。

9人の剣士達には、これからも良き仲間、良きライバルとして切磋琢磨、正しく強くなって行って欲しいです。これからの君たちの活躍を楽しみにしています。

さあ、その6年生といっしょに参加する最後の試合、さくら草旗剣道大会が20日(祝・火)に行われます。中学生にうしろ2人をお願いしての7人制団体戦です。チームワークよくいい試合をしてください。10日(土)には、浦和剣連が主催する大会に向けての強化稽古会が浦高であります。昨年は、中学生抜きで参加し、総合1位になって帰ってきました。今年も前哨戦とどらえががんばってきましょう。

さて、今日は後期の級審査会です。試合だけが日頃の稽古の成果を発揮する場ではありません。審査会でも力が出せる剣道を身につけることは大切です。本日までに特2級をとった6年生と5年生は、4月21日(土)に駒場体育館で行われる「1級審査会」にトライするといいいでしょう。有段者への入口になります。また、3級、2級をとった人は、県の3、2級にチャレンジしてみてください。そのためには木刀による剣道基本技稽古法をマスターしなければなりません。基礎基本をしっかり身につけましょう。

そして、24日(土)は6年生を送る会です。昨年度は震災の影響で何とか開催にこぎつけた送る会でしたが、それはそれでいろんな人の気持ちのこもった素敵な会になりました。今年は、昨年度できなかった「6年生対5年生以下(送る側)の勝ち抜き戦」を復活させたいと思っています。先輩相手に後輩がどこまでがんばるか、卒業生が賞状を見せ付けるか、が見所です。後輩諸君には、「あとは任せてください。」と言える力強い試合を見せて欲しいです。6年生は小学校の集大成としての試合をぜひ見せてください。

この日は、新しいキャプテン・副キャプテンを決める日でもあります。誰がなるのかも注目、候補者が今までで一番多い学年になります。今からよく考えて投票しましょう。

今月最後の日、31日(土)は「OB・OG稽古会」です。昨年度は残念ながら開催できませんでした。年度末の忙しい中だとは思いますが、稽古できるできないにかかわらずぜひお集まりください。顔を見られるのを楽しみにしています。

最後に…こまけんだより編集長様、長い間お疲れさまでした。感謝しています。ありがとうございました。



## 2月のお当番さんノートの感想より

2月1日(木) 木村由枝先生・大本先生・尾島先生

- ・寒さを吹き飛ばすくらい気合の入った稽古だったと思います。
- ・大きな声と竹刀のぶつかる音が道場に響き渡って気持ちよかったです。

2月4日(土) 木村先生・本荘先生・山田先生・尾島先生

- ・寒い中いつもどおりの気合の入った稽古でした。
- ・最後は本田先生と石井先生の立ち合いを見ることができ、見取りをする大切さを感じました。皆、真剣に見ており、その後の稽古にもますます気合いが入っていました。

2月9日(木) 石井先生・木村由枝先生・尾島先生

- ・今日は始めから気合の入ったおきな声が多くて素晴らしかったです。
- ・まだ寒さも続き、風なども流行っていますが、この気合いでがんばってください。
- ・6年の清水君が中学受験合格の報告に来てくれました。おめでとうございます。

2月11日(土) 木村先生・本荘先生・尾島先生

- ・寒い中、たくさんの方が参加しました。
- ・途中大人の試合を見学しました。学ぶことが多くあったようです。



2月16日(木) 尾島先生・渡邊順迎先生

- ・足捌きの稽古の指導で、尾島先生から「足の指をグーッと曲げてパッと踏み込む、グーパッグーパッと前に出ることを教えていただきました。とても分かりやすく、皆一生懸命取り組んでいました。

2月18日(土) 木村先生・本荘先生・尾島先生

- ・「何事も基本が大事である。」「正しい剣道を目指す。」というのが印象に残りました。
- ・寒い中、人数も多く、稽古も活気がありました。

2月23日(木) 尾島先生・古澤先生

- ・須山くんの声出しや返事をすぐするなど、とても気合いを感じた。
- ・真砂智くんが初心者の子たちに的確なアドバイスをしていたかっこよかった。
- ・休憩時間に河内くんや長谷部くんが鏡の前で構えの確認をしていた感心。
- ・石井先生からスポーツセミナーの報告があり  
「歯とスポーツ…歯を噛み締める部分が広いと力が出る。  
発声と力……大きな声を出すと力が出る。  
バランス……準備体操も大事だが、整理体操も体のバランスを整えるのにより重要。」
- ・尾島先生より…「試合直前につめを切らない」  
足のつめは2週間前までに、指のつめは1週間前に切る。つめを切ると力が出せなくなるので。

うがいしよう



2月25日(土) 山田先生・尾島先生

- ・3コートに分かれて月例試合をしました。
- ・初めてのお当番でした。気合いが入っていて、声も大きく、気迫が感じられすごいと思いました。自分の子も風邪でしばらくお休みしていた後の初めての月例試合に参加でき、よかったです。
- ・真砂さんが、みんなで書いた色紙を持って入院中の本城通明くんをお見舞いしてくださいました。本城くん、退院して元気になったらまた一緒に剣道しようね！！がんばれ！！

お当番さん、寒い中ありがとうございましたm(\_)\_m



# 卒業特集 贈る言葉

とうとう、この時期が来てしまいましたよ～(T.T)

駒剣をリードして来てくれた6年生の皆さん、ご卒業おめでとうございますm( )m  
卒業する6年生に贈る言葉を木村先生、尾島先生、山田先生、錬成部長本田さんに、  
卒業する6年生を代表してキャプテン松本くん、保護者を代表して松本くんのお母様に  
一言ずついただきました。  
皆さん、すてきな一言をありがとうございましたm( )m



## 6年生に贈る言葉

師範 木村 裕之

6年生の皆さん、君たちが、一步、社会の一員に近づいたことをたいへん嬉しく思います。

これから君たちはそれぞれ中学校へと進み、新しい生活のスタートに期待と希望で一杯かと思えます。新しいスタートラインに立ち、新しい第一歩を踏み出して行きます。そして、卒業というこの時期に、ひととき立ち止まって、自分が小学校の6年間で、また剣道を通じて、何を学んだのか、何がその時起きたのか、思い浮かべてください。

今、日本はかつてなかった、未曾有の天災の復興に向かって全力で進んでおります。君たちの立場も中学生となり、社会の一員として、今この惨状を直視しなくてはなりません。

旅立ち、十二の春、君たちは、自らの手で初めて少しそのドアをあけたのです。生まれて100日頃を迎えたペンギンは、それまで親からもらっていた食べ物をもらえなくなり、自分で海に潜り食べ物を探します。親離れは、社会的存在となる第一歩。君たちも今その時がきたのです。小さなペンギンの様に、海に出なくてはなりません。

社会の一員になっていく道には、頭を、大きな石で思いっきり殴られるときがあります。しかし、自分で見つけた信念は、絶対に失わないことが必要。君たちも自分が好きなことを見つけなければなりません。もし、見つからなければ、探し続けること。これが、社会の一員になる第一歩。

震災の復興を進めるに際して、私はなかなかおめでとうという言葉が出てきませんでした。その言葉があまりにも明るすぎるから。しかし、今、震災の地では、子供達の成長、子供達の笑顔が復興へのエネルギー、推進力となっています。そして、駒剣の子供達は、世界の子供のリーダーの様に、一生懸命、笑い、泣き、汗をかき、皆に力を与えています。

君たちは、もう既に、一人前の社会の一員かもしれない。ここに、心より、君たちに、卒業おめでとうと言いたい。そしてこれからも、君たちの大きな笑顔で、皆を元気にしてあげてください。卒業おめでとうございます。



## 巣立ちの時

師範 尾島 寿子

近藤君、清水君、須山君、種田君、本荘君、本多君、松本君、森君、脇田君、卒業おめでとうございます。小学校も駒剣からも旅立つ君たちの姿は輝かしく、未来の夢の扉を開いて一步進むときがやってきました。この一年間で6年生は全員が心と技と体と大きく成長しました。剣道の言葉で「心技体」の一致した成長と言えましょう。

私は中学生のときに通っていた剣友会の後輩たち(当時は小学生)とは縁があって、大会の引率で再会したり、大学や高校の剣道の指導にかかわり(教員や監督として)そこへ私の教え子がお世話になったり、いまだに旧姓の「豊原先輩!」と呼んでくれるのが照れくさいのと嬉しいのと懐かしい気持ちで混じり合います。剣道で出会った仲間は一生ものかもしれません。どんなに離れていても、傍らにいらなくてもどこかで再会があり、昔に戻れる。また新しい付き合いが生まれもします。

さて、近藤先輩、清水先輩、須山先輩、種田先輩、本荘先輩、本多先輩、松本先輩、森先輩、脇田先輩、駒剣士たちにとって君たちは一生の先輩です。駒剣での最上級生としての役割を果たしたから得た先輩の称号を持って、立派に中学生生活を迎えてください。

4月から新6年生が誕生します。君たちが築き上げた駒剣がまた活気溢れ、面倒見のよい先輩が育ちますように見守ってくださいね。そして眩しい制服姿も是非披露お願いします。また会いましょう!!



## 卒業おめでとう

師範 山田 節男

毎年この季節になり六年生を送り出すころになると年月がたつのは、早いなあといつも思います。それぞれ入会の時期は違いますが、寒い季節も暑い季節も稽古に頑張り、いよいよ卒業を迎えますね。おめでとうございます。

さて、昨年(2011年)の東日本大震災、紀伊半島の台風、さまざまな災害の後に迎えた今年の埼玉大学の寒稽古の講話では、感謝の気持ちについて触れていることが多いように感じました。昨年の3月から5月ころまではいろいろな行事ができなくなったり、延期になったりしました。しかし、一年たって、いまだ復興がなされていないのに直接の場所から離れている私たちは、なんとなく意識が薄くなってはいないでしょうか。

剣道をするということについてだけを考えても、毎週稽古をできるようになってしまえば、できなかったときのことはあまり考えなくなってしまいます。もちろん、いやなことをいつまでも思い出してばかりいることが良いことではありません。忘れることによってつぎの新しいことに立ち向かえることもあります。しかし、忘れてはいけないこともたくさんあると思います。感謝すること、大変な人がたくさんいること、これは忘れてはいけないことだと思います。

ところで、剣道に限らずどんなことでも、始めた時期が遅ければ最初のうちは、以前からやっている人になかなか追いつけない、勝てない、のは当然です。このことは、ときどき皆さんに話してきました。まだ経験の少ない人はなかなか、上達しませんが、ぜひ、くさらずに続けてください。正しい教を素直に聞き、工夫しながら稽古する、これを続ければ必ず上達していきます。かべにあたっていると思う人も実行してください。このことは、剣道以外の他のことにも当てはまることだと思います。ぜひ工夫しながら続けてください。

最初の忘れてはいけないことを続けてゆく、次の工夫しながら稽古や物事を続ける。どちらも継続することで大きな力になる、継続は力なりです。しかし、違うほうから見れば、継続することは、自分にとっては、力のいること努力のいることでもあります。継続する皆さんの力を信じています。

最後に、ひとつ。

卒業すると皆さんは、駒剣のOB会員です。駒剣をいろいろなところで応援してください。駒剣に来てください。反対に皆さんがいろいろなことでうまくいかない、続かないと思うときがあるかもしれません。そんなときも、駒剣に来てください。剣道を休んでいてもかまいません。顔を出してみてください。駒剣のみんなが皆さんを見守っています。皆さんはこれからもずっと駒剣の会員です。





## 卒業生へ

後援部長 本田 正則

6年生のみなさん、ご卒業おめでとうございます。  
以前は、松本くん、森くん、本荘くんと休会から復帰した清水くんの4人だけで、少し寂しいメンバーの学年だと思っていましたが、卒業する今、仲間がたくさん増えて良かったですね。途中からはじめたメンバー全員、1～2年の間で「あっ」という間に上手になりましたね。

自分も数年前に大人になって剣道を始めましたが、みんなが「あっ」という間に色々な技や試合のかけひきを覚えるのをみて、とても勉強になりました。

駒場剣友会では、剣道の技のこと以外にも礼儀作法や家族や周りの人に感謝する心などみんながこれから迎える中学生生活やもっと先の社会人になってから大切なことをたくさん習ってきたと思います。

これからの中学生生活を駒場剣友会で学んだことを活かして部活動、学校生活に元気に過ごして下さい。

そしてOB会や合宿、修道館の稽古や駒場体育館に、成長したみなさんの姿を見せに来て下さいね。  
先生方ももちろん、後輩たちも大きくなったみなさんの姿を見て頑張ると思います。



## 『駒 剣』

キャプテン 松本 駿平

2年生の剣道教室で駒剣に出会い、たくさんの先生、先輩方、保護者の皆様に支えられ、多くのことを学んできました。

そしてもうすぐ卒業。2年生のときに剣道を始めて、もう6年生。時間が過ぎてゆくことの早さを、今すごく実感しています。

駒剣を卒業することはすごくさびしいです。中学校へ行っても、駒剣で学んだ礼儀、あいさつ、てきぱきと行動することなどを忘れずに、今以上に意識していきたいです。

保護者の皆様、先生、先輩方、そしてこれから駒剣を背負う後輩たち、いっしょに卒業を迎える仲間たち、今まで大変お世話になりました。

松本キャプテン！ お疲れさまでしたm(\_ \_)m





## 『駒剣と出逢えたこと』

卒業生保護者 松本 育代

駿平が二年生の時、お友達に誘われ半ば強引に剣道教室に通った事がきっかけで駒剣に入会しました。

駒場剣友会は愛情たっぷりの剣友会で先生方はたくさん褒めて子供達の力を伸ばして下さい、成人会員さん、後援部の方々もいつも子供達を暖かい目で見守って下さっています。そんな駒剣で剣道が出来たからこそ、駿平は剣道が大好きになれたんだと思います。そして一年間キャプテンとしてやってこられたのも副キャプテンをはじめ、たくさんの皆さんに支えて頂いたお陰です。どうもありがとうございました。

剣道の稽古だけでなく、先生方のお話を正座をして聞いたり、寒稽古で朝3時半起きで稽古に出掛けたり、今の時代なかなか体験出来ないことを駒剣を通して体験させて頂けた事はこれからの人生必ず役に立つと思います。子供だけでなく私自身も貴重な体験をさせて頂いたと思っています。

駒剣と出逢えた事に心から感謝しています。  
先生方、成人会員、後援部の皆様、五年間お世話になり本当にありがとうございました。



先生方、愛情溢れる温かいメッセージをありがとうございました。  
6年生の皆さん、卒業とともに、これからは新OB会員としてよろしくお願ひしますね(^^) /  
6年生の保護者の皆さん、お子様のご卒業おめでとうございます。これまで大変お世話になりましたありがとうございましたm(\_)m



## お知らせです



### 3月の予定



- 1日(木) 通常どおり 5:00~7:00
- 3日(土) 駒剣 後期昇級審査会 3:00~5:00  
半年に一度の級審査会です。お休みしないように、体調を整えておきましょう。
- 8日(木) 通常どおり 5:00~7:00
- 10日(土) 通常どおり 3:00~5:00 さくら草旗の選手は強化稽古会 12:30 浦高剣道場集合
- 15日(木) 通常どおり 5:00~7:00
- 17日(土) 通常どおり 3:00~5:00 さくら草旗剣道大会 駒剣結団式
- 20日(祝・火) さくら草旗剣道大会 (さいたま市記念総合体育館)  
8:15選手現地集合 9:30開始  
出場予定選手 Aチーム 河内聡志、真砂智、新井駿太、森渉、本荘日向、山崎直人、木村啓人  
Bチーム 権田陽樹、山崎彩香、森田将彰、松本駿平、本多和史、真砂裕、高橋慧
- 22日(木) 通常どおり 5:00~7:00
- 24日(土) 1:00~5:00 6年生を送る会(夜は保護者を送る会があります。)  
毎年恒例、6年生対下級生の勝ち抜き団体戦が、また盛り上がりそうですね~♪
- 29日(木) 通常どおり 5:00~7:00
- 31日(土) 駒剣OB合同稽古会 9:00~13:00 第一体育館(いつもトランポリンなどやっているところ)  
午後の稽古はありません。修道館はあります。  
去年は震災で中止になってしまったOB会です。  
先輩たち!! お誘いあわせの上、ご参加よろしくお願ひします!  
※ 村岡杯はOB会と日程が重なるため参加しません。

先輩方! よろしくお願ひします!!



## 4月の予定



進級おめでとう!



- 5日(木) 通常どおり 5:00~7:00  
7日(土) 通常どおり 3:00~5:00  
12日(木) 通常どおり 5:00~7:00  
14日(土) 通常どおり 3:00~5:00 (剣道教室申込受付2:00~)  
19日(木) 通常どおり 5:00~7:00  
21日(土) 一級審査会(駒場体育館)対象者のみ  
稽古は通常どおり 3:00~5:00 (剣道教室申込受付2:00~)
- 26日(木) 通常どおり 5:00~7:00  
28日(土) 駒場剣友会定期総会 3:00~5:00 (2F会議室にて)  
年に一度の大切な会です。先生方や他の保護者の方のお話を聞く  
よい機会でもあります。万障お繰り合わせの上、ご出席のほど  
よろしくお願ひ致しますm(\_)\_m  
稽古は通常通り3:00~5:00です。

※剣道教室は5月12日(土)~6月30日(土) 全8回!  
(13:00~15:00)

申込受付は4月14日(土) 14:00~ 剣道場前にて



みんな、お友達をさそってみてね!!

### \*\*\*\*\*編集担当者交代のご挨拶\*\*\*\*\*

長らく(平成15年より9年間にわたり)こまけんだよりの編集を担当させていただきました本荘母ですが、  
このたび、日向とともに卒業させていただき運びとなりましたm(\_)\_m  
次号よりこまけんだよりを担当してくださる後援部のお二人からコメントをいただいておりますので御紹介させていただきます。

まず、5年生の羽部公人くんのお母様、羽部ゆう子さんです。

「こんにちは!4月からこまけんだよりを担当させていただき羽部です。  
駒剣の皆様への感謝の気持ちをこめて♥制作に励みたいと思います。  
どうぞよろしくお願いいたします。」

よろしくお願ひしま〜す!



そして3年生の西村壺吾くんのお母様、西村都さんです。

「こんにちは。新年度から4年生になる西村壺吾の母です。駒剣の皆さんのお役に  
たちたいなあ~と思わず手を上げてしまいましたが、...あまり得意ではありません(^\_^)  
実はだいぶ前から「パソコンとお友達になってこまけんだよりのようなものを自由自在に  
作れたらなあ」と本荘ママに憧れておりました(\*^\_^\*)皆さんに引き続き楽しみにしてい  
ただけるように頑張りますので、どうぞよろしくお願いいたします!」

編集担当をお引き受けくださったお二人に深く深く感謝いたします。  
みなさま、どうぞお二人に、より一層の御支援御協力をよろしくお願いいたしますm(\_)\_m

長男、次男、そして三男と3人の子どもたちのご指導をいただきつつ、私もみなさまのご寄稿やご支援のおかげさまをもちまして、毎月  
だよりの発行を続けていくことができました。

丸山先生!杉山先生!それから菅原先生、九州の山崎先生、木村先生、尾島先生、山田先生、星野さん、渡辺良平さん、  
成人会員のみなさま、保護者の皆様、OB会員のみなさん、駒剣士のみなさん、そして本荘先生、大変お世話になりました  
誠にありがとうございましたm(\_)\_m





# おまけ 今までの『こまけんだより』 ちょっと振り返ってみた(^^)

いつも先のことだけ考えて作ってきた『こまけんだより』でしたが、最後にちょっとだけ思えば遠くに来たもんだ〜♪と振り返っちゃいます  
始まりは今さかのぼること10年！！平成14年4月のその名も『心技体』。初代後援部長さんだった星やんこと星野さんが作ってくださった手書きイラスト(一部バクリあり?)満載の愛が溢れるペーパーでした♡

2002年(平成14年)4月

記念すべき創刊号！  
すべてはここから始まった(\*´`\*)

この年、丸山先生の発案で、駒刻に指導部、練成部、後援部という三つの歯車ができました。  
以来、駒刻全体をさらに良くしていこう！とみんながそれぞれの役割を持って歯車をぐるぐると回してきた感じがしてます。



2002年(平成14年)7月



そうです。  
渡辺順迎さんです！

ハイ！なってますよ〜星野さん♪  
でも、イラストもいいですよ〜♡

お〜、この頃から  
武芸帳の色が  
出てきますね♪

星野さんは大会の記録も  
その都度冊子にして配っていただきました。

翌年、書記見習いになった本荘母が申し出て、おたよりを毎月発行することに。  
星野さんのように剣道の知識のない本荘母は、先生のお話とお当番さんの感想(稚古の様子)、翌月の予定をメインにB4版1枚の簡単なお手紙を作りました。(本荘先生が師範の一人に加わったのもこの年でしたね)

# 月刊 KOMAKEN

2003. 6月号

月刊KOMAKENは読者の皆様のために発行しています。毎号お楽しみになるお話しや大人気の漫画、お話しをして下さる読者のみなさまの投稿をお楽しみください。

## ★ 4. 5月の練習を振り返って

### 丸山先生より

「みんな一生懸命やっています。もっと、気力を高め、気力を増してあげば、もっともっとよくなります。」

### 渡部先生より

「6月に練習のいい中学生が中学へ進学して、一気に気が散ったように感じていましたが、ここへ来てやっと気がついてきたように感じます。このまま一生懸命やっていると、夏の間はこんな感じの練習が続いていくでしょう。まあ、全員に参加することによって気力があがることに喜んでいます。」

### 高橋先生より

「今年も夏休み、気分、声どりに新しい練習がいろいろありました。しかし、まだまだできてきて、これから練習がさらに進んでいくでしょう。まずは、正しい練習方法、行方を身につけてほしい。」

「練習は大事!!! 声は大事!!!」

### 読者のみなさんへ

「もっと大きな声を出しましょう。1人で練習するだけでなく、みんなと一緒に練習してください。みんなが練習した感想を書いてください。」

- 1月に練習した日数を練習ノートに記入し、
- 4月の練習の感想を練習ノートに記入し、
- 練習が楽しくない練習を教えてください。
- 練習を頑張った中学生の練習ノートを見せてください。
- 練習の感想を練習ノートに記入し、
- 練習がもっと楽しくなるように、練習してもらったら、必ずお話しをお願いします。

2003年(平成15年)6月号

月刊KOMAKENとして創刊(名前カッタ)かなりサッパリした始まり方でしたね(´▽`)イラストもなし(´\*)

先生方のお話もインタビューして書き取ったようなものでした。わざわざ原稿をお願いするもの申し訳ないようなためらいがありました(´▽`)

そうなんです!!今ではあまりないのですが、このころ(およそ10年前)の会員は20数名でお当番日誌には毎回のよう「もっと声を大きく!!!」と書かれていました。

2004年(平成16年)1月号

先生に原稿をお願いするようになり、グッと読み応えのあるものになりました。丸山先生は毎月いろいろなお話を用意してくださいました。イラストもちらほら…(´◇`)

# 月刊 KOMAKEN

2004. 1月号 駒場剣道会

## 丸山先生より

あけましておめでとう。

今年も元気をだして、練習に頑張ってください。

お年玉は学友達のメッセージです。正しい剣道に役立ててください。

### 読者のみなさんからのメッセージ

#### 「基本を大切にすれば必ず強くなる」

読者様、わたしは自分なりに練習するように「自分の練習をやるぞ!」と心の中で思っています。自分の練習とは、自分の体の中心から出すような基本の練習のことです。やっぱり練習のことが思いついて「練習はこつこつ練習だから、こうすれば強くなるんじゃないか」と、ついに練習で強くなることを考えてみよう。中心をはずして「強く打てば強くなる」と思った練習もありました。しかし、そういう練習を繰り返して、「基本を大切にしたらもっと強くなる。その練習をやった経験、強けてしまってもいいんじゃないか。とにかく強くなるように自分の練習をしよう」と思い始めるわけですね。世界大会の時もそうでした。正確な練習をするとは少しも思いませんでした。一番、正しい練習をやることだけが目的でした。練習してみて「強くなった」という感じでした。

わたしが世界大会と全日本大会で優勝できたのは、やはり「基本の練習」ができたからだと思います。けして練習がなかったわけではありませんが、強くなった練習がなくなってしまえば、こつこつ練習の強くない手でも強くなる。わたしよりも、もっともっと練習している人がたくさんいると思います。みんなに「練習で強くなるから練習を頑張るよ。南無んかおととに比べたら、小さいころに練習したことなかった」といっているくらいです。一生懸命に練習をしていけば、強くなるんじゃないかなと思います。

どうしても人は強くなると思ってしまう。そして強くなるためにこれと士気、強いです。「強く強くなるにはどうすればいいんですか?」とよく聞かれます。そんな時、わたしは「基本を大切に練習すれば必ず強くなるよ」と自信を持って答えます。みんなも、練習で基本練習の練習をして下さい。

丸山先生 清新

## 本荘先生より

あけましておめでとうございます。

昨年より、駒場剣道会の指導員に加えていただき楽しくやらせてもらっています。一昨年からは仕事が変わり、子供の指導から離れていましたので、家業などから「剣道では生き生きとしている」と冷やかされています。

「一度行ってみたいやならやめていいから、一度だけ行ってごらん」これは、小学校5年生のとき、剣道を習うことを聞いて練習がなくなった友達です。あれから30年経ち、当時と同じ道場で自分が子と一緒に練習しているなんて、何か不思議な感じがします。剣道に新しく入ってきて、強くなることも思うようにいかない子供を見たりすると、当時の自分とズブツブツします。剣道の道場は、私の剣道のスタートであり、初心に戻してくれる場所でもあります。

今年もいっしょうけんめいやっていますので、皆様どうぞよろしくお話しします。

## 尾島先生より

### 12月の練習をふりかえって

特に、高学年の意識が変わった。剣道がとても良くなりました。全体としては、練習が面白くなった。剣道へ打ち込み練習が楽しくなりました。12月のメニューの中に練習して10本セット、100本練習が追加されました。最初は何だか難しかった。だんだん、練習が面白くなって上手になっていっています。プラス、多め、近頃の練習も修正し、遅い足で決め中心を取り打突ることを練習に基本を行なっています。「基本を大切に練習」で強くなるには、練習してみることが大切です。(丸山先生の言葉)みんな、遅い足で練習してね。右足で踏み込むと、バキバキと足音がし、強くなるスピードが速くて、その練習も(遅くて)二回になってしまうから、足で踏み込みを遅く、サッパリと練習しよう。練習に来ると、子供たちから丸山のパワーをもらって、シャキとした気持ちの時でも、すごく元気になる。みんなのおかげで、ありがとう!!



総会の資料などには必ず添付される駒剣のキャッチフレーズとも言えるこの文章は、このときの丸山先生の言葉でした。。。。

# 月刊 KOMAKEN

2004. 3月号 駒場剣友会

先生方よりひとこと

丸山先生より

## 駒場剣友会は人間形成道場である。

2004. 2. 14 丸山記

私が駒剣に期待していることは、立派な人間になるための基礎を築く場であることである。

一刃は万刀に化するというように、剣道の錬成が人間の育成になることを念頭に、剣道の一挙一動を人間形成の一つ一つに位置づけて指導し、会員はそれを習得して欲しいのである。同時に、会員は生活の仕方の一つ一つが、剣道の上述に關わるように、自覚して行動してほしいのである。

その環境作りは、師範(剣道の指導者)の自覚が第一である。師範は根っことなり、機関車とならなければならない。師範がこの理念をしっかり目覚して指導に当たれば「ただ勝てばいい」「格技は勝たなければやる意味がない」などの体質は生まれてこないのだ。

勝つことを否定するものではない。勝つことは大切である。なぜならば、人間形成の重要な手段だから!

「あいつは下手だ」「のろまだ」など個性を無視した声も出ないはずだ。人の顔が一人一人違うように、人間にはそれぞれの特性があると同時に**それだけ磨けば磨くのが人情というもの**なのだ。良い方に良い方に伸ばしていくのが指導者であり保護者でありよき友人である。そういう人になるような影響力を持った駒場剣友会にしたいのである。

会則を改正して保護者会ではなく後援部としたのは、**一人の子の保護者ではなく「人間形成を目指す会」の充実・発展を支援するのだ**との意図をしっかりと持っていたからだったからである。人は社会の中で育つのだ。「駒剣が良くなればそこにいるものも良くなるのだ」と考えている。逆に一人の上達にこだわったら、周りはみな敵だ。一人ならトップだが、他人の良き悪きかわからぬ井の中の蛙なのだ。それが良くないことは知っていないが、我が子にだけ目が心がいってしまふのが人情というものなのだろう。大変失礼なことを言ってしまったが、平素の偉力の様子から後援部員の方々は大方のご理解をいただけていると感じている。さらに、後援部の皆さんが「相手が上手になればうちの子も上手になる」「周りの者が思いやりがあればうちの子も思いやりのある子になる」「駒剣が良くなれば子供たちが良くなり、うちの子もその中で良くなるのだ」と信じて駒剣を丸ごと背負ってほしいのである。



会則で指導部・錬成部・後援部としたのは、上記の趣旨のほかに、会員がみな同等の発言権を持っていることを表したものだ。絶対多数は後援部にある。したがって、後援部には正しくリードする責任があるのだ。**駒剣の浮沈は後援部の方々の心を養う心・育てる力にかかっている**。このところを十分ご理解いただき、積極的にご協力くださるようお願いする次第である。

こうした運営の結果、子供たちは日々熱心に稽古に励み、立派な態度で正しい剣道をして強く上手になり、どんどん勝ちあがる選手が輩出され、人間として社会に有益な人になってくれれば、駒剣はよき思い出の元になり、各人の生き様の模範となって日々盛である。

役員の皆さん、会員の皆さん! この趣旨をご理解くださって、後援部と会の充実発展にご協力くださるようお願いする次第である。

木村先生より

## 2月の稽古を振り返って



さくら草旗も近づいてきて、駒剣の中の試合にも力強さが以前に増して出てきています。2月の月例試合(2月28日)も気迫のこもった良い試合が多かったです。2月の月例試合で気が付いたことを二つ、記します。一つは「三歩前進から離脱(そんなさよ)の間について」、二つ目は「始めの直後について」です。

### 1. 三歩前進から離脱の間について

試合は試合会場に入るときから始まっています。堂々とした態度で三歩でその間に「動い」があることが重要です。三歩で相手と気持を合わせつつ、竹刀を「袈裟(けさ)切り」に抜き、構えて離脱する。そのとき背筋がピンと伸びていること。この一瞬の瞬間の姿勢を体全体から気迫が満ち溢れている人は必ず、すばらしい試合をします。さくら草旗の選手の人達は堂々と良い離脱ができるようになってきました。そしてここでは「気迫だけは絶対に負けなさい」と相手の目をにらみつける、くらしい迫力を是非持ってください。

### 2. 「始め」の直後について

その瞬間のときにお尻を下カットと落とさないで、(お尻が下カットと落ちていくと直ぐに立ち上がられません。)立会いの「始め」の声を聞かぬや、離脱から立ち上がりつつある中でも相手の面が打てるような、また、相手がいつ攻めてきても対応できる気迫のある立ち上がりを行う事が重要です。そして一番重要なことは、逃げない心、です。

「始め」の声と同時に後ろに動く人、右に動く人がいます。堂々と大きな気合と共に、相手に向かって前に一歩出ましょう。「始め」と同時に、逃げない心



## 星やん武芸帳 第1号!

今やその七十三号までになっている武芸帳の記念すべき第1号です。このときは、まだホームページがなかったのでモノクロですね(´▽`)でも、ホントにイラストがお上手でビックリしました!



タイトルが「こまけんだより」になり、表紙には目次を入れてデザインは自由に遊ばせていただくように・・・

この年の夏は、大好きな雷がいっぱいだったんです(\*´▽`\*)



2007年(平成19年)11月号

木村先生の鶴の一声！？で駒剣ホームページ開設が決定！  
富田さんが一手に引き受けてくださり、今も管理人さんとしてお世話になっています～♪  
m(\_)\_m

### 駒剣ホームページのご案内

#### 駒剣ホームページ開設のご挨拶

おと(1)と(2)に連続して駒剣のホームページが完成し開設されました。  
 事の発端は富田さんの熱意からで、木村先生から富田先生に「富田、富田さん駒剣のホームページを作ってください」とお願いがきっかけで、富田先生がご担当になりました。  
 富田先生の熱意のおかげで、2007年の秋に駒剣のホームページが完成し開設されました。  
 「駒剣の歴史、活動の経緯と盛り上がり」などの紹介に活用でき、とても喜ばれています。  
 富田先生の熱意のおかげで、2007年の秋に駒剣のホームページが完成し開設されました。  
 「駒剣の歴史、活動の経緯と盛り上がり」などの紹介に活用でき、とても喜ばれています。  
 富田先生の熱意のおかげで、2007年の秋に駒剣のホームページが完成し開設されました。

ホームページを作った富田さんより一言いっただけです。



この度、駒剣ホームページ構築をさせて頂いている富田です。  
 富田の方から常々要望されていたホームページがやっと完成しました。  
 初めてのことでいろいろ戸惑いながらも富田先生の助言のおかげで、一歩ずつ進められた  
 駒剣の歴史が楽しみです。これから富田です！  
 改めてみんなで作って上げていける駒剣の歴史が楽しみです。

それでは富田、改めてこちらの富田先生に行きましよう！



富田ホームページアドレス  
[http://www.geocities.jp/komaba\\_kan.jp/index.html](http://www.geocities.jp/komaba_kan.jp/index.html)

こんな感じ～！



### 駒場剣友会ホームページ

2007年度宣言書  
 6月15日(土) 駒場剣友会 2007年度宣言書  
 「宣言書 みんなよくがんばりました」  
 大型バス2台、参加62名参加  
 ★ 駒剣ホームページ登場 ★  
 2007年11月1日 本日より正式運用です。  
 富田さんよりお祝いいたします。  
 富田 2007年11月1日  
 【 本ホームページは駒場剣友会役員会の監督の下、作成・運営されています。 】  
 2007年11月1日より正式公開

### 駒場剣友会ホームページはこんなページだ！

#### ■内容盛りだくさん☆(・\_・)

- 駒剣について (駒剣の紹介です)
- 活動記録 (これまでの年間行事と記録です)
- 駒場宣言 (過去の宣言書と宣言です)
- 稽古スケジュール (2007年度稽古スケジュールが確認できます)
- 富田の武芸帳 (富田さんより富田の武芸帳がすべてご覧いただけます)
- 富田のライブラリー (富田さんより富田のライブラリーがご覧いただけます)
- 入会案内
- ダウンロード

#### ■ホームページには秘密がある！

富田ホームページがあります。  
 ここには、富田の駒剣アルバムと富田の武芸帳が掲載されています。  
 場所は、「富田のライブラリー」のページの右下に入ります。  
 但し、パスワードが必要です。パスワード → "koma\_koma"  
 富田の武芸帳  
 駒剣アルバムを見るためにパスワードが必要です。  
 このページの一番下の右側に記載されています。  
 富田さんよりお祝いいたします。

2008年(平成20年)11月号

2009年(平成21年)9月号

2009年(平成21年)12月号

ホームページ開設のおかげで、素敵なアルバムができて、写真のデータもすぐにいただけるようになり表紙にも写真が入ることが多くなりました。カメラマンさんと、ホームページ管理人さんに感謝です！

以上、チラチラと懐かし昔のこまけんだよりを振り返らせていただきましたm(\_)\_m  
 もしも興味がわいたら、ぜひホームページのバックナンバーをご覧になってみてくださいね。  
 本当に最後まで好き勝手に面白いことさせていただけちゃって、すみません(・\_・) ありがとうございました～m(\_)\_m

さて、お待たせしました！最後はお楽しみ星やん武芸帳です♪  
 今月の武芸帳は～？ 星野さん長らくお世話になりましたm(\_)\_m 今後ともよろしくお祈りしま～す！！